



ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを！



▲キャップを受け取る、環境美化委員長の高野真実さんと副委員長の西村真利愛さん

阿蘇市商工会女性部（藤川美智子部長）は年間を通じ、花いっぱい運動、宮地駅へのクリスマスツリー設置、各種イベントへの参加など様々な奉仕活動を展開していますが、この度、キャップを集めワクチンを買うボランティアに取り組みました。各部員が店舗や自宅で集めた約2万個超のキャップは、同活動に半年前から取り組んでいる宮地小学校へ持参。児童が集めたものと合わせてNPO法人エコキャップ推進協会に送られます。宮地小では、環境美化委員が中心となり活動しており、キャップを入れるとおもしろく転がる収集箱「コロコロマシーン」を作るなど、楽しく集められる方法も考えています。キャップ400個で10円。ポリオワクチンは一人分20円。800個で一人の命を救うことが出来るということです。

やさしいまちを未来へ 人権フェスティバル 開催

永草保育園によるトーンチャイム



人権週間（12月4日～10日）にあわせ、12月3日、阿蘇体育館で、市や阿蘇市人権・同和教育推進協議会及び阿蘇市女性団体連絡協議会主催による「阿蘇市人権フェスティバル」が行われました。この催しは、学校などによる人権教育への取り組みや学習活動の披露、講演会などを通じて、人権意識の普及・高揚を図るもので、毎年開催されています。会場では、絵画、人権標語、人権ポスター、学習活動で制作した作品、男女共同参画川柳などの展示コーナーが設置され、ステージでは、中通隣保館で学習活動し



▲記念講演

ている大正琴講座の演奏、NPO阿蘇ヒューマン21のコーラス、YMC A永草保育園によるトーンチャイムの演奏、人権擁護委員による劇が行われました。記念講演では、「財団法人 反差別・人権研究所みえ」主任研究員 松村智広さんが「あした元気になあれ」と題して講演されました。



人権擁護委員による劇
「おおごつ！妻が農業委員に立候補」

バルーンフェスティバルのポスターをデザインした竹原さん



▲竹原亜弥さんの作品

阿蘇市の冬恒例のイベント、Aso Love&Peace バルーンフェスティバル（12月19・20日）のポスターに阿蘇高校1年の竹原亜弥さんの作品が採用されました。クリスマスをおもちゃで楽しもう♪というイベントだけに、若い人たちの目を引く宣伝をしたいと、毎年、実行委員会が阿蘇高校にポスターデザインを依頼しているもので、現役高校生の夢をのせたポスターは今回も、福岡や県内の主要施設に張られ雰囲気



▲イベント当日行われた表彰式の様子

を盛り上げました。来年も高校生パワーに期待します！